



学校だより

令和2年12月2日

ウルムス

12月号

横浜市立釜利谷南小学校

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>

校長 田中 さくら

コロナ禍の釜南スポーツフェスタ

副校長 関口 義和

今年度の釜南スポーツフェスタは、校庭工事で秋の実施となり、また、コロナ禍で行う感染症対策を実施した上での開催となりました。午前開催や参観人数の制限、優先エリアの設定、学年の色分けをしたストラップの来校者証配付にもご理解・ご協力いただきありがとうございました。おかげさまで、大きな混乱もなく進行することができました。

また、長い期間、校庭整地工事・屋外練習でご迷惑をおかけした地域住民の皆様、学校運営にご理解いただき、ありがとうございました。

応援団長をはじめ、応援団の児童は、マスクをしながらも声をからし、練習に励みました。当日も、距離を取りながら赤組白組の応援のリードをして、盛り上げることができました。リレーの代表児童は、日に日にバトンパスが上手にできるようになり、当日は、最後まであきらめずに走り抜くことができました。



低学年の団体演技は、可愛らしくも、堂々とした演技でした。中学年の団体演技は、休業期間中に体づくり運動で取り組んだ短縄を使い、自分の技も披露する演技となりました。高学年の団体競技は、コロナ禍で生まれた、新しい競技となりました。担当の先生方が、試行錯誤しながら、密を避ける競技として子どもたちが盛り上がることを考え、編み出しました。子どもたちも戦法を相談しながら、競い合うことができました。

このスポーツフェスタのねらいのひとつに、「体育を中心に学習活動の成果を発表し合う中で、健康や運動への関心を高め、自己の生き方に進んで運動を取り入れていこうとする」があります。コロナ禍において、健康がなにより感染症予防策です。その健康な体を作るのは、運動を自分の生活に取り入れていくことです。ゲームやスマートフォンといった、バーチャルな世界も魅力的ですが、人間本来の体を使って生活する実体験もこれからは重要となってきます。学校生活だけでなく、家庭生活の中にも運動やスポーツを取り入れ、「コロナに負けない」新しい生活様式を実践していきましょう。

ニレの木にこにこ人権週間

毎年12月4日から10日まで「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権尊重思想の更なる普及高揚を図るため、全国各地においてシンポジウム、講演会、座談会など様々な人権啓発活動が行われています。



本校でも、12月1日(火)～4日(金)までを人権週間とし、活動を通して子ども達や職員一人ひとりが自分自身の生活を見つめ直し、子ども達の自尊感情を高めるとともに、友達を大切にする意識と実践力を養い、「だれにとっても居心地のよい」学校生活を送ることのできる学校・学年・学級づくりを目指します。今年度は、「いじめをしない・させない・見逃さない」に重点を置いています。

そこで、人権集会では、副校長から人権(いじめ)に関わる話をしました。ドラえもんに出てくる、ジャイアンの名言を引用し、「お前のものは、おれのもの。お前の悲しみは、おれの悲しみ…、みんなの幸せが、私の幸せ」と考えることができないか問いかけました。

全てのことを自分の事として考えることができたなら、互いに助け合いの学校になっていく、仲間になっていく。自分のことならば、心の痛みをほっとけない、いじめをしない、させない、見逃さない、と確認しました。ご家庭でご心配のことがありましたら、面談もありますので、学校へご相談ください。



個人面談

12月14日から個人面談となります。これまでの学習や生活の様子及び、お子さんの成長や課題についてお伝えし、確認し合う機会にしたいと思います。今回は、新型コロナウイルス感染症のために、学校の様子やお子様の様子について、ゆっくり話す時間がありませんでした。コロナ禍の生活を含め、しっかりと情報共有したいと思います。よろしくお願いたします。